

町田市 S.C. 「健康・生活アンケート」 結果報告 (抜粋)

アンケート実施期間：平成 29 年 1 月

第12回「健康・生活アンケート」(H29) へのご協力ありがとうございました。

今回は、H29年度から新たに調査項目に加わった「認知症サポーター養成講座(オレンジリング)」に関する分析結果をまず紹介します。

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を地域で温かく見守る「認知症サポーター」の養成講座は、当センターが市から運営を受託・開催していることもあり、多くの会員が受講し、その証であるオレンジリングを持っています。

今回の調査によって、受講経験のある会員は 1,140 人を数え、アンケート回答者の 52%を占めることが明らかとなりました(図 1)。認知症サポーターは、町田市全体では 2016年までに約 2 万人が誕生したそうですが、養成講座が小学校や企業等でも多く開催されていることを考えると、高齢者の互助的組織として千人規模のサポーターを抱えていることは、センターの福祉的機能として大いに誇れることでしょう。

また、「認知症の家族を支援するため、何か手伝ってみたいと思いますか」という設問には、受講経験のある会員の方が 13ポイントも高く「はい」と回答しました(図 2)。これは、養成講座が単に知識を身に着けるだけでなく、実際に手助けしようとする意欲や態度にも貢献することを表しています。現在、新入会員すべてに養成講座の受講をお願いしており、「シルバー会員は全員が認知症サポーター」となる日を目指しています。

図 1 「認知症サポーター養成講座」を受講したことがありますか (回答者 2,194人)

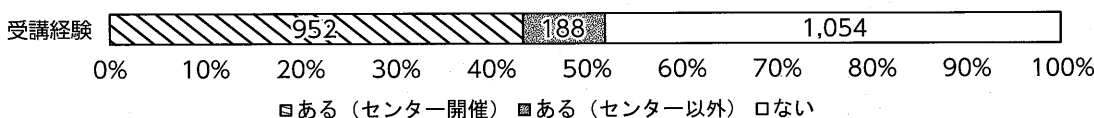
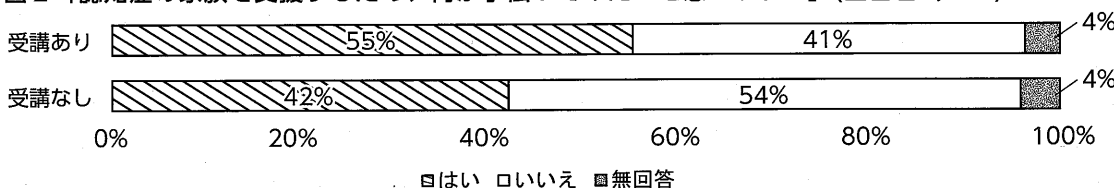


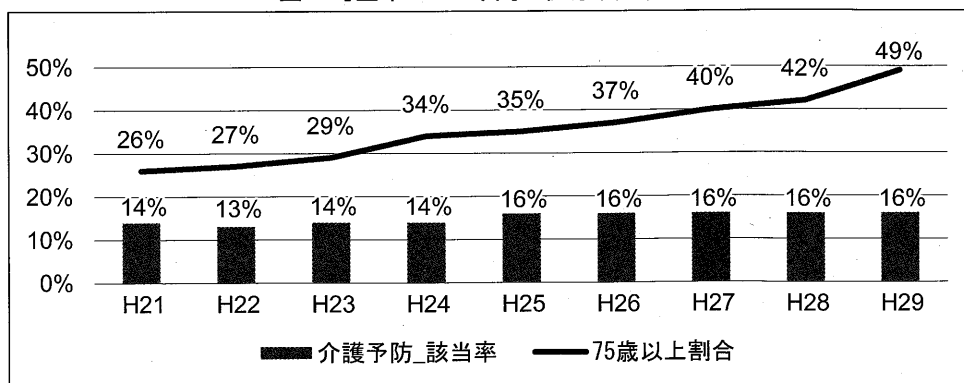
図 2 「認知症の家族を支援するため、何か手伝ってみたいと思いますか」 (回答者2,194)



次に、毎年調査を継続している会員の健康度に関する結果を紹介します。

「健康・生活アンケート」の回答に基づいて「介護予防の対象者」に該当する会員の割合を算出した結果、今年の該当割合16.1%でした。これは昨年の16.4%とほぼ同じで、この9年間ほとんど変わっていません(図 3)。同じグラフ上の折れ線は、回答者の75歳以上の会員の割合です。当初の26%から49%へと急上昇しているのがわかります。町田市シルバー人材センターでは、会員の高齢化が進んでも、高い健康度が維持されていることを“見える化”した結果となりました。

図3 町田市SC 7年間の健康度の推移



以上